

哀川 翔さんが、 オオクワガタ(オス) を探しています。



【オオクワガタ属の特徴】

本属の特徴としては、体色は黒色が多く、上から押しつぶされたように平たい。ヒラタクワガタと同属で見分けが難しい。



テレビや映画などで大活躍され、クワガタやカブトムシ愛好家でも知られている哀川翔さん(鹿屋市出身)が、先日KTS鹿児島テレビ放送の特番(6月28日午後7時~放送予定)による取材で、大隅広域公園カート場にて哀川翔さんとクワガタガールズのカート対決が行われました。ミニクワガタガールズも応援に駆けつけ、錦江町をPRしました。

また、哀川翔さんは錦江町内でオオクワガタを探しています。(哀川さんも高校時代、大原付近へクワガタとりに来ていたそうです。)もし、オオクワガタを見つけた方は企画課(電話0994-22-3032)へご連絡ください。

【歴史から未来へ導く】

「錦江町と島津家の軌跡を歩む」

「三国名勝図会」④

今月は、「三国名勝図会」「大根占町誌」「根占郷土誌」からの情報をもとに制作しました。

落差46m、幅60mの雄川の滝。最近新聞やテレビなどで取り上げられ、多くの観光客が訪れています。根占郷土誌を見ると1751年11月には木曾川の治水工事で知られている島津重年公が大隅町(旧根占町)を巡視され、国見城や雄川の滝などをご覧になった。とあります。雄川の滝は三国名勝図会にも絵図入りで紹介され、花瀬川と麓川が合流してから落ちる高さ25・6間(47.8m)、幅50間(90m)。滝の下流の両崖は30間(48m)の高さでまるで屏風のように高くそびえ立っている。宝暦元年、円徳公はここにも遊覧している。と記載されています。

また、雄川の滝周辺には、ハゼの木や楮コナラの木などがあり、ハゼの木などはきれいな紅葉を見せます。藩政時代

ハゼの木は、ろうそくの原料として大切な役目をしており、大根占町誌を見るとハゼの木を藩の政策として植えさせたとあり、製ろう工場が大正の中期ごろまで大根占町馬場麓加治屋にあったとあります。また、楮コナラの木も同じく紙の原料として藩が薦めており、三国名勝図会にも大根占(壱崎)は紙の生産地だったと書かれています。次回も三国名勝図会や記述などから錦江町と島津家の関わりについて歩んでみたいと思います。



三国名勝図会より

錦江町の歴史や言い伝え、昔の遊びや行事など、特集を組んで取り上げていきたいと思っております。町史や各資料より調べ掲載していきますが、掲載した内容と違う見解の資料などありましたら、錦江町役場企画課広報へご連絡ください。錦江町の歴史や文化をひも解き、観光や地域づくりに繋げていきたいと思っております。また、個人でお持ちの歴史的資料や写真、言い伝えなどありましたら、取材や調査にいきたいと思っておりますのでご連絡ください。

【問い合わせ先】 錦江町役場 企画課 TEL 0994-22-3032